

えほんのおへや通信



2013年3月1日(金)発行 サンガこども園

今年度も残りわずかとなりました。「たいよう」(年長児)さんはこれから新たな出会いに旅立ちますが、サンガの絵本達をいつまでもいつまでも忘れないでください。

サンガこども園で定期購読しています福音館書店の月刊幼児絵本「こどものとも」3月号の紹介。

こどものとも 0.1.2

10ヶ月～2歳向き

「ひよこさん」

征矢清作 / 林明子絵

ひよこさんが、ひとりでおでかけです。暗くなったので、葉っぱの布団をかけて、ねんねします。「なんだか とっても あったかい」。気がつくと、おかあさんの羽に包まれていました。



こどものとも 年少版

2～4歳向き

「ポンテのはる」

オスターグレン晴子文 / エヴァ・エリクソン絵

壁をつつくキツツキの音に誘われ外に出た、子犬のポンテ。「くんくんふんふん」と嗅ぎ回り、チューリップを食べる鹿や冬眠から覚めたばかりのカエルに出会います。雪どけの水たまりで遊んでいると、あれ? いい香り!



こどものとも 年中向き

4～5歳向き

「うさぎさんの あたらしい いえ」

小出淡作 / 早川純子絵

丘の上に、うさぎさん一家が引っ越してきました。しかしそこへ、一匹のきつねが舌なめずりしながらやってきます。「なんじゃろ、なんじゃろ、ばかにうまそうなおい」と・・・



こどものとも

5～6歳向き

「ながいかみのむすめ チャンファメイ」

～中国・侗族の民話～

君島久子再話 / 後藤仁画

山に囲まれた貧しい村に住む長い髪の娘は、ある日、偶然不思議な泉を見つけます。でも山神に、泉のことを人に教えたら命はないと脅されます。日照りで水不足で苦しむ村人のために、その泉を教えてしまいます……。



ちいさなかがくのとも

3～4～5歳向き

「なぞってみたよ」

福知伸夫作

いろいろなものをなぞってみると、いろいろなかたち! じぶんの手、かぞくの足、バナナ、ガムテープ、牛乳パック。次は何をなぞってみよう?



他にこんな絵本も購入しました。

「さんすうだいすき④ わける まとめる [分析・総合]」

編著者 遠山啓

5歳～7歳

【内容】

わかる(分析)、まとめる(総合)、色と乗り物、色と形、数と具体物、人と動作(主語と述語、主語と目的語)ほか。



【学習のポイント】

【“わかる・まとめる”とは】

4歳ぐらいの子どもに赤いボールを見せて「これは何?」ときくとたいてい「あか」か「ボール」のいずれかの答えになります。どっちもまちがいはありませんが正しくは「赤いボール」です。このボールは色は赤、形はボールというようにわけられます。赤とボールをまとめると赤いボール。“わかる”は分析で“まとめる”は総合です。この分析総合は物事を正確にとらえたり表現したりするのにとてもたいせつな方法です。分析総合は数学者のデカルトが唱えた科学のもっとも基本的な方法で、学問や社会がまさにこの方法で成り立っているととっても過言ではありません。幼児期から物事を正確にとらえ、考え、表現する力をつけることは算数・数学教育にとってもたいへん大事なことです。

日本図書センター

【雑感】

「少子化対策」と声高く言われながら、現代の子どもを取り巻く環境は厳しい状況にあります。インターネット環境の氾濫、ケータイ依存症、ゲーム、などなど。子どもたちを豊かにし、大切にしたいがために考え出されたものが、逆に「子どもらしさ」をむしろ損ねてはいないでしょうか。

子どもたちが正しく「選べない」時には、大人が知恵を貸しながら「子どもらしく」毎日を送れるよう、子どもたちを守っていかねばなりませんね。

